

（京都府）

【分野】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

（橋梁点検の効率化・省力化・自動化に向けた検討）

【手法】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

5年に1度の橋梁定期点検について、点検業務の効率化・省力化・自動化、点検調書作成に要する労力の低減等が課題となっている。デジタル技術を用いた点検・診断や点検データのプラットフォーム化による橋梁の維持管理サイクルの改善を検討したい。

① 解決したい課題

【公共施設の規模】

京都府管理 道路橋梁数：約2,100橋

【課題】

建設業における課題である長時間労働の是正、就業者の高齢化の進行に対応するには生産性向上の取り組みが急務となっている。

京都府においても、管理橋梁の数に対して、点検業務に割ける職員数は限られており、業務の効率化による生産性向上が求められている。

・点検調書作成に要する労力

点検時に作成する損傷図が手書きであり、大きな労力がかかる。

・効率的かつ定量的な判定審査の実施

京都府では土木事務所単位で点検結果の判定を行っており、点検業務を請負うコンサルタントもそれぞれで異なる。また、点検や判定の業務を担当する職員も数年で変わるため、判定結果に地域、年度でばらつきが生じる恐れがある。

② 課題解決の方向性

デジタル技術等を用いた点検・診断を行うことで、点検作業の省力化・効率化を図りたい。

・橋梁のデジタルツインを構築し、現場で撮影した写真から損傷図を出力することで点検調書作成の効率化を図る。

・AIにより損傷や変状を自動抽出することで、ばらつきのない判断をすることができる。

③ 課題解決のイメージ・効果

・デジタル技術を用いた点検・診断手法を導入することにより、効率的で定量的な判定を行い、生産性の向上に繋げたい。